2026年度 第7回（12月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

1　放送文

No.1

Mom: Ken, where are you going?

Ken: To the library, Mom. I want to read a book about space.

Mom: The library is closed today. They are cleaning it.

Ken: Oh, no! Then I'll go to the bookstore and buy the book.

Question: Where will Ken go?

（訳）母：ケン、どこへ行くの？／ケン：図書館だよ、お母さん。宇宙の本を読みたいんだ。／母：今日、図書館は閉まっているわ。そうじをしているの。／ケン：えっ！じゃあ本屋に行って、その本を買うよ。
質問：ケンはどこへ行きますか。

No.2

Yuki: Dad, is it going to be cloudy tomorrow, too? It's cloudy today.

Dad: Let's see. The TV says it will be rainy in the morning, but the rain will stop at noon.

Yuki: Then can we have the picnic in the afternoon?

Dad: Yes. It will be sunny in the afternoon.

Question: How will the weather be tomorrow afternoon?

（訳）ユキ：お父さん、明日も曇りかな。今日は曇りだよね。／父：見てみよう。テレビでは、午前中は雨だけど、正午に雨はやむそうだよ。／ユキ：じゃあ、午後にピクニックができるね。／父：うん。午後は晴れるよ。
質問：明日の午後の天気はどうなりますか。

No.3

Mai: Is your brother at the party, Tom?

Tom: Yes, he is over there. He's playing with a ball.

Mai: Which boy is he? The boy with glasses?

Tom: No. He doesn't wear glasses, but he has a cap.

Question: Which boy is Tom's brother?

（訳）マイ：トム、あなたのお兄さんはパーティーに来ているの？／トム：うん、あそこにいるよ。ボールで遊んでいるんだ。／マイ：どの男の子？めがねをかけた子？／トム：ううん。めがねはかけていないけど、ぼうしをかぶっているよ。
質問：トムのお兄さんはどの男の子ですか。

No.4

Emma will go to Canada to see her grandmother tomorrow. Today, she is at the school gate with her friend Aki. Aki says goodbye to her.

Question: What will Aki say to Emma?

（訳）エマは明日、祖母に会いにカナダへ行きます。今日、彼女は友だちのアキと学校の門のところにいます。アキはエマにお別れを言います。
質問：アキはエマに何と言うでしょうか。

No.5

Lisa and Taku are watching a soccer game at the stadium. Lisa says, "This game is really exciting!" Taku thinks so, too.

Question: What will Taku say to Lisa?

（訳）リサとタクはスタジアムでサッカーの試合を見ています。リサは「この試合、本当にわくわくするね！」と言います。タクも同じように思っています。
質問：タクはリサに何と言うでしょうか。

No.6

Hello, everyone. I'm Anna Lee, the new ALT. I came to Japan from New Zealand last month. I'm not good at singing, but I'm good at cooking. I often make pizza for my friends on weekends. Next Friday, I will join the cooking club event. We will make pizza in the cooking room after school. The event starts at three thirty. If you want to join us, please bring an apron. See you there!

Question 1: What is Ms. Lee good at?

Question 2: What time does the event start?

Question 3: What should the students bring to the event?

（訳）みなさん、こんにちは。新しいALTのアンナ・リーです。先月ニュージーランドから日本に来ました。わたしは歌うのは得意ではありませんが、料理は得意です。週末によく友だちにピザを作ります。来週の金曜日、わたしは料理部の行事に参加します。放課後に調理室でピザを作ります。行事は3時30分に始まります。参加したい人は、エプロンを持ってきてください。そこで会いましょう！

質問1：リー先生は何が得意ですか。

質問2：行事は何時に始まりますか。

質問3：生徒は行事に何を持ってくるべきですか。

No.7

Emma: Jun, are you free next Saturday? I want to go to the Christmas market in the city.

Jun: That sounds nice! How long does it take to get there?

Emma: It takes forty minutes by train. But the market is far from the station, so we'll take a bus.

Jun: I see. What time should we go?

Emma: The market opens at ten, but it will be crowded in the afternoon. Let's go in the morning.

Jun: OK. Can we eat lunch there?

Emma: Yes. The soup is very popular there. It's five hundred yen.

Jun: Great! I'm looking forward to it.

Question 1: How long does it take to go to the city by train?

Question 2: How much is the soup?

Question 3: How will Emma and Jun go from the station to the market?

（訳）エマ：ジュン、今度の土曜日はひま？市内のクリスマスマーケットに行きたいの。／ジュン：いいね！そこまでどのくらいかかる？／エマ：電車で40分かかるわ。でもマーケットは駅から遠いから、バスに乗るつもりよ。／ジュン：なるほど。何時に行こうか。／エマ：マーケットは10時に開くけど、午後は混むでしょう。午前中に行きましょう。／ジュン：わかった。そこで昼ごはんは食べられる？／エマ：ええ。スープがとても人気なの。500円よ。／ジュン：いいね！楽しみだな。

質問1：電車で市内まで行くのにどのくらいかかりますか。

質問2：スープはいくらですか。

質問3：エマとジュンは駅からマーケットまでどうやって行きますか。

1　No.1（2点）

ウ

答え: ウ

・Ken は最初 "To the library." と言うが、母に "The library is **closed** today."（今日は閉まっている）と言われる。

・そこで "Then I'll go to the **bookstore** and buy the book." と言う。**最後に決めた行き先**は本屋（ウ）。

・最初に聞こえた library（ア）にひっかからない。言い直しのあとの場所を聞き取る。

1　No.2（2点）

エ

答え: エ

・質問は「明日の**午後**の天気」。Dad は "It will be rainy in the morning, but the rain will stop at noon." と言ったあと、"It will be **sunny** in the afternoon." と答えている。

・rainy（ア）は午前の天気。cloudy（ウ）は**今日**の天気。snowy（イ）は出てこない。

・天気は、いつの天気か（今日・午前・午後）をあわせて聞き取る。

1　No.3（2点）

イ

答え: イ

・Tom の兄は "playing with a **ball**"（ボールで遊んでいる）。

・Mai の "The boy with glasses?" に "No. He doesn't wear glasses, but he has a **cap**." と答えているので、**ぼうしをかぶり、めがねはかけていない男の子**。

・ア（めがね）は doesn't wear glasses で×。エ（かばん）はボールを持っていないので×。ウは女の子で、"Which boy" に合わない。

・外見の特ちょう（持ち物・身につけた物）は、「ある」「ない」の両方を聞き取って絞りこむ。

1　No.4（2点）

ア

答え: ア

・Emma は明日カナダへ行く。学校の門のところで友だちに**お別れ**を言う場面。旅立つ人には **Have a nice trip!**（よい旅を）と声をかける。

・Welcome back!（おかえり）は帰ってきた人に、How was your trip?（旅行はどうだった？）は旅行から帰った人にたずねる言葉。Happy New Year! は新年のあいさつ。

1　No.5（2点）

ウ

答え: ウ

・Lisa が "This game is really exciting!" と言い、Taku も**同じように思っている**。同意を伝える言い方を選ぶ。

・**I think so, too.**（わたしもそう思う）は同意・あいづちの決まり文句。Me, too. / I agree. も同じ。

・アは悪い知らせへの返事、イはお礼、エは「どういたしまして」で、場面に合わない。

1　No.6 (1)（3点）

ウ

答え: ウ

・Ms. Lee は "I'm **not** good at singing, but I'm **good at cooking.**" と言っている。**be good at 〜** は「〜が得意だ」で、at のあとは名詞か動名詞（〜ing）。

・singing（ア）は**得意ではない**と言っている方。dancing と swimming は話に出てこない。

・not good at（得意ではない）と good at（得意だ）の聞き分けがポイント。

1　No.6 (2)（3点）

イ

答え: イ

・"The event starts at **three thirty**." より。three thirty ＝ 3時30分。

・"after school"（放課後）は時刻ではなく、行事を行う時間帯。three o'clock や four o'clock と聞き間違えないよう、時と分の両方を聞き取る。

1　No.6 (3)（3点）

イ

答え: イ

・"If you want to join us, please bring an **apron**." より。apron ＝ エプロン。

・pizza は行事で作るもので、持っていく物ではない。

1　No.7 (1)（3点）

ウ

答え: ウ

・Emma は "It takes **forty** minutes by train." と言っている。forty ＝ 40。

・fourteen（14）と forty（40）は音が似ている。-teen（13〜19）は語の終わりを強く長く、-ty（20, 30, 40…）は前を強く言う。数字は、桁もふくめて聞き取る。

・ここでの Question は、駅から先のバスではなく「電車」にかかる時間。

1　No.7 (2)（3点）

イ

答え: イ

・"The soup is very popular there. **It's five hundred yen.**" より。five hundred ＝ 500。

・fifty（50）や fifteen hundred（1500）とは別の数。値段は、単位（yen）の前の数を最後まで聞き取る。

1　No.7 (3)（3点）

bus

答え: bus

・Emma の "the market is far from the station, so we'll take a **bus**" より。

・電車（train）で市内の駅まで行き、駅からマーケットまではバス。乗り物を2つ言っているので、Question が「駅から」であることに注意する。

2　問1（2点）

science

答え: science

・日本語のメモ「**理科**の本のコーナー」に対応。

・"There will be a corner for (science) books" ＝「理科の本のコーナーがある」。

・教科名：理科 science／数学 math／音楽 music／体育 P.E.／英語 English／社会 social studies。

2　問2（2点）

information

答え: information

・日本語のメモ「ブックフェアについての**くわしい情報**をお知らせします」に対応。「情報」は **information**。

・"Here is some (information) about the fair." ＝「ブックフェアについての情報です」。

・information は数えられない名詞なので、a や -s をつけない（× an information, × informations）。some や a lot of を使って量を表す。

2　問3（2点）

イ（been）

答え: イ (been)

・日本語のメモ「わたしたちの図書室に**行ったことがありますか**」に対応。**経験**をたずねる現在完了の疑問文。

・"Have you **ever** (been) to our library?" ＝「あなたはわたしたちの図書室に行ったことがありますか」。**Have ＋ 主語 ＋ ever ＋ 過去分詞 〜?** の形。

・be の過去分詞は **been**。「〜へ行ったことがある」は have been to 〜。have のあとなので、過去形 was や原形 be は入らない。

2　問4（2点）

ア（borrow）

答え: ア (borrow)

・日本語のメモ「生徒が本を2週間借りるのを**許してくれます**」に対応。「（人）が〜するのを許す」は **let ＋ 人 ＋ 動詞の原形**。

・"Ms. Ito lets students (borrow) books" ＝「イトウ先生は生徒が本を借りるのを許してくれる」。let のあとの動詞には **to をつけない**（原形不定詞）。

・make ＋ 人 ＋ 原形（〜させる）、help ＋ 人 ＋ 原形（〜するのを手伝う）も同じ形。

2　問5（3点）

2番目=エ（call）・4番目=ア（event）

答え: 2番目 = エ (call), 4番目 = ア (event)

・日本語のメモ「この行事を、学校では『ブックフェスト』と**呼んでいます**」に対応。

・正しい語順: **we call this event Bookfest** → "In our school, we call this event Bookfest."

・1: we (イ) / 2: call (エ) / 3: this (オ) / 4: event (ア) / 5: Bookfest (ウ)

・**call A B** は「A を B と呼ぶ」。A（this event）と B（Bookfest）が **A ＝ B** の関係になる（SVOC の文型）。make A B（A を B にする）、keep A B（A を B のままにしておく）も同じ形。

2　問6（2点）

ウ（What）

答え: ウ (What)

・日本語のメモ「それについて**どう思うか**、教えてください」に対応。相手の感想・意見をたずねる決まり文句は **What do you think about 〜?**。

・"(What) do you think about it?" ＝「それについてどう思いますか」。

・How do you think 〜?（×）とは言わない。「どう思う？」でも、日本語に引きずられて How を選ばないこと。

2　問7（4点）

（解答例）Thank you for your kind words. Which book do you want to read at the fair?

解答例: Thank you for your kind words. Which book do you want to read at the fair?
訳: ほめてくれてありがとう。ブックフェアで、どの本を読みたいですか。
採点ポイント:
・語群（favorite / book / which）から1語以上使用
・1文目＝お礼（**Thank you for 〜.** の形が書きやすい）
・2文目＝Sam にたずねる**疑問文**（**Which book do you 〜? / What is your favorite book? / Do you have a favorite book?** など）。文の終わりは？にする
・全体で2文
・文法・スペルの正確さ

3　問1（3点）

B

答え: B
・補う文: **I was very tired at night, but I enjoyed the work.**（夜はとても疲れましたが、その仕事を楽しみました）
・the work が指すのは、直前の「朝5時に起きて、いっしょにりんごをつんだ」という農場の**仕事**。B に入れると、「つらい仕事だったが楽しかった」とつながる。
・A の前には、まだ農場の仕事の話が出てこない。C の前は台風の話で、「仕事を楽しんだ」とはつながらない。

3　問2（4点）

2番目=イ（surprised）・4番目=ウ（see）

答え: 2番目 = イ (surprised), 4番目 = ウ (see)
・正しい語順: **was surprised to see many** → "I **was surprised to see many** apples in it."
・1: was (エ) / 2: surprised (イ) / 3: to (ア) / 4: see (ウ) / 5: many (オ)
・**be surprised to 〜** は「〜して驚く」。to ＋ 動詞の原形が、**感情の原因**を表す副詞的用法の不定詞。（glad to hear「聞いてうれしい」、sad to see「見て悲しい」も同じ形。）
・**訳:** 箱の中にたくさんのりんごが入っているのを見て、わたしは驚きました。

3　問3（3点）

ア（who）

答え: ア (who)
・空所の直前は a man（人）、直後は never gives up（動詞）。空所が**主語のはたらき**をして、a man を後ろから説明する。人を説明する**主格の関係代名詞**は **who**。
・"My grandfather is a man (who) never gives up." ＝「祖父はあきらめない人です」。
・which は物・動物に使う。whose は「〜の」、whom は目的格で、あとに〈主語＋動詞〉が続く。ここは動詞が直後にくるので who。

3　問4（4点）

①=イ（since）・②=ア（for）

答え: ① イ (since), ② ア (for)

・どちらも、ずっと続いていることを表す**現在完了（継続）**。

・① has lived in Akita (since) he was a child ＝「子どものころから」。あとに〈主語＋動詞〉(he was a child）が続き、**起点**を表すので **since**。

・② has been a farmer (for) forty years ＝「40年間」。あとに**期間**（forty years）が続くので **for**。

・since ＝ 起点（いつから）／for ＝ 期間（どのくらい)。

3　問5（4点）

イ

答え: イ

・"Last summer, I went to his farm to help him." より、Haruto は去年の夏に祖父の農場で手伝いをした（イ)。

・ア：祖父が住んでいるのは東京ではなく Akita。

・ウ：台風で多くのりんごが木から落ちた（many apples fell from the trees)。

・エ：先月祖父が送ってくれたのは手紙ではなく**箱**（a box)。

4　問1（4点）

（イタリアでは）家庭ごとに、自分の家のソースがあること。

答え:（イタリアでは）家庭ごとに、自分の家のソースがあること。

・That は直前の文 "Each family has its own sauce."（どの家庭にも、その家だけのソースがある）の内容を指す。

・その前の "It is eaten almost every day"（ほとんど毎日食べられている）まで広げず、すぐ前の1文を指していることをおさえる。

・採点：「パスタがほぼ毎日食べられていること」をあわせて書いていても、ソースの趣旨があれば可。「各家庭に独自のソースがあること」の趣旨が書けていれば正解。

4　問2（3点）

ア（snowy）

答え: ア (snowy)

・直前の Yuna の発言 "White **snow** is falling from the sky."（白い雪が空から降っている）に対応。雪の日の天気は **snowy**。

・天気を表す形容詞：sunny（晴れ）／cloudy（くもり）／rainy（雨）／snowy（雪)。

・Sofia の次の文 "I have never seen so much snow" も手がかり。

4　問3（3点）

イ（is cooked）

答え: イ (is cooked)

・主語は Nabe（なべ料理）で、「(人によって）調理される」という**受け身**の意味。受動態は **be動詞 ＋ 過去分詞**。

・"Nabe (is cooked) in a big pot" ＝「なべ料理は大きななべで調理される」。cook の過去分詞は cooked。

・cooks（調理する）は主語が人でないと合わない。cooking や cook では、文に動詞（is）がなくなってしまう。

4　問4（4点）

2番目=イ（something）・4番目=エ（to）

答え: 2番目 = イ (something), 4番目 = エ (to)

・正しい語順: **bring you something hot to drink** → "I'll **bring you something hot to drink**."

・1: you (ア) / 2: something (イ) / 3: hot (ウ) / 4: to (エ) / 5: drink (オ)

・bring A B は「A にBをもってくる」。B にあたる something に、形容詞（hot）→ to drink の順でつく。something ＋ **形容詞 ＋ to 不定詞** で「何か〜な飲む（する）もの」。to drink が something を後ろから説明する**形容詞的用法**の不定詞。

・**訳:** 寒いでしょう。何か熱い飲み物をもってきますね。緑茶があります。

4　問5（4点）

ウ（Why）

答え: ウ (Why)

・Ryo の答えが "**Because** it keeps us warm ..."（体をあたためてくれるから）。**Because 〜.** は理由を答える言い方なので、たずねる文は**理由**を聞く **Why**。

・"(Why) do people in Japan eat nabe so often in winter?" ＝「なぜ日本の人は冬にそんなによくなべ料理を食べるのですか」。

・What（何）／How（どのように）／Where（どこで）では、Because の返事とつながらない。

4　問6（4点）

イ（were）

答え: イ (were)

・あとに "I **would** make pasta for you" とある。〈If ＋ 主語 ＋ **過去形** 〜, 主語 ＋ **would** ＋ 動詞の原形 …〉は、**現実とは違うこと**を「もし〜なら…するのに」と仮定する**仮定法**。

・Sofia は今、料理が上手とは言えないので、"If I (were) a good cook" ＝「もしわたしが料理上手なら」。

・仮定法の if の文では、主語が I でも be動詞は **were** を使う。am や will be、have been では仮定の文にならない。

4　問7（3点）

ア

答え: ア

・Sofia の発言のあとの Yuna の返事は "**Of course.** There is a lot."（もちろん。たくさんあるよ）。Of course. は、許可や頼みごとに「もちろん」と応じる言葉。

・おいしいスープのあとに「おかわりしてもいい？」と許可を求める **Can I have some more?** が入る。

・イ（値段）、ウ（駅の場所）、エ（時刻）は、この場面の話題と合わない。

5　問1（3点）

ア

答え: ア

・"Momo became well in a week." より、Momo は1週間で元気になった（ア）。

・イ：動物病院で働いたのは10日間ではなく three days（3日間）。

・ウ：Momo が病気になったのは Mao が10歳のとき。今も病気だとは書かれていない。

・エ：Mao がなりたいのは nurse ではなく vet（獣医）。

5　問2（3点）

イ

答え: イ

・第3段落 "A vet must care about **both animals and their owners.**"（獣医は動物とその飼い主の両方を気づかわなければならない）より。

・ア：仕事は hard（大変）だったと書かれており、動物の世話が少なくてよいという内容はない。

・ウ、エ：本文に書かれていない。English は、動物の本を読むために勉強している。

5　問3（6点）

（解答例）① I want to be a teacher. ② My teacher helped me a lot when I was in elementary school. I want to help students like my teacher. Also, I like talking with children.

解答例: ① I want to be a teacher. ② My teacher helped me a lot when I was in elementary school. I want to help students like my teacher. Also, I like talking with children.

訳: ①わたしは先生になりたいです。②小学生のとき、先生がわたしをたくさん助けてくれました。わたしは先生のように生徒を助けたいです。また、わたしは子どもと話すのが好きです。

採点ポイント:

・①は **I want to be** で始まる1文で、自分の夢（職業など）が書けている

・②は2文以上で、夢をもつ理由（きっかけ・やりたいこと・好きなことなど）が具体的に書けている

・全体で3文以上

・文法・スペルの正確さ（「〜になりたい」は want to be 〜）